

はるの里 通信

発行元 社会福祉法人 はるの里
生活介護事業所 はるの里

615-8241 京都市西京区御陵谷町 7-1
TEL/FAX 075-394-5930
URL <http://www.harunosato.com>



今年度初のはるの里通信を皆様にお届けします。

長いコロナ禍の影響で、心や身体にも厳しい日々が続きますが、はるの里の仲間はずっと笑顔で元気いっぱいです。

今号では、はるの里での日々、活動の様子や、創作活動の作品、お知らせを掲載しています。どうぞ、ご覧くださいませ。

ホームページは

harunosato.com



で、検索していただくと、カラーでご覧いただけます。

ずっと一緒に

心地よい爽やかな風に秋を感じる日々です。高浜虚子が詠んだ「木犀の香にあげたての 障子かな」で情景とともに金木犀の甘い香りが漂ってくるようです。今年度も、みなさまのお手元に通信をお届けするのがすっかり遅くなってしまいました。地域の方々が空き缶をご持参いただく度に「みんな元気にしているかな」と声をかけて下さったり「今年もまつりは中止ですか」とたくさんの問い合わせがあり、あたたかいつながりに感謝の気持ちでいっぱいです。

コロナ禍で過ごす2回目の秋、障害のある仲間たちの日中活動は感染リスクを少なくするため大きな行事や全体で集うことなどの見合わせを継続しています。どうしたら仲間や家族のいのちを守り、事業を継続できるのか、目に見えないウイルスの厄介さに悩みが付きません。同時に、楽しいことがいっぱいできる日が戻ってくるのを心待ちに、内なる力をつ

ける時期と違って過ごしています。

仲間たちは元氣人！

はるの里の仲間たちは、今の生活スタイルにそれぞれ折り合いをつけ「こんなふうにしたら楽しめるとちやうか」「今日もよう笑った」とみんな元氣！です。仲間たちと過ごす日々が、わたしたち職員にとって愛おしく、かけがえのないものです。今年も残念ながら「はるの里まつり」は中止とします。仲間たちから元氣のおすそ分けや素敵なおメッセージをこの通信やホームページで届けていきます。また直にお会いできるのを楽しみにしています。

コロナ禍で浮き彫りになっていくことから学んで

感染者が減少し、10月1日より緊急事態宣言や蔓延防止が解除され、ほっと一息と共に「ほんまに大丈夫やろか」と不安もつきません。地域社会の人々の健

康の保持・増進をはかり、疾病を予防するため、公私の保健機関や諸組織によって行われる衛生活動”であるはずの公衆衛生や医療の機能が不十分なため、守れるはずのいのちが失われる事態が続いています。145万人の大都市である京都府に1カ所しかない保健所になったための弊害、症状にあった医療体制が構築されず不安な中、自宅療養をせざるを得ない状況を、次の第6波が来るまでに改善してほしいと切に願います。

はるの里の仲間や家族が感染や濃厚接触となった際に、安心して治療や保護できる場所の確保ができるだろうか、一人ひとりの仲間や家族状況を思うと不安でたまりません。だれものいのちが最優先されるだれにも優しい社会になるよう、障害があるがゆえに抱える困りごとを生の声で届けてまいります。今後ともご支援、ご指導の程よろしくお願いいたします。

所長

村井

文枝

わくわくがいっぱい！

コロナウイルス感染防止のため、遠出の機会やはるの里全体での取り組みは減りましたが、グループで楽しめることを仲間（利用者）と職員と一緒に考えて日々「わくわく」を感じられるような活動をしています！ここではそんな活動を少しご紹介します。

夏

「おいしいものが食べ
た〜〜い♡」

七夕行事をグループで取り組みました！各自、短冊に願い事を書いて笹に飾りましたよ。



春

近所の桜の下で花見をしたり、はるの里の40歳のお祝いをしました。



秋

浴衣や法被を着て、「プチまつり」をしました。魚釣り（魚以外に電車、たい焼き、お菓子などもありました）ゲームをしたり、ボーリングをしたり、楽器を持ち寄ってチンドンと音頭を踊ったりして最高に盛り上がりました！！





「世界のさつまいも」
作 丸山堅一

芋の型の中を絵の具で塗っていきました。中心は色付きシャボン玉をスプーンですくって紙に乗せていきました。



「シャボン玉ホリデイ」
作 上羽恵美・馬場梓

2人で一緒に作りました。筆をブンッ！と振って絵の具を飛ばして描きました♪



絵の具を直接紙に出して、筆とポンポンを使って描きました。火球が左下に向かって迫ってくるような力強さを感じてください。

「火球」
作 山下公子



大きなハートを描きました。♡手がハートを覆い包んで見えるようなところにこだわりました！



「きずな」
作 松野凜

はるの里

仲間それぞれの力を活かして作品を作りました。
芸術の秋を楽しんでください！
本ページに掲載の作品は、ポストカードにして販売いたします（主に冬の事業販売として）。
ご興味のある方は、はるの里までお問い合わせください。

アート展

「マグマばこぼこ」
作 山下浩子



絵の具を混ぜたシャボン玉を飛ばして紙の上ではじけさせました！



貼り絵に挑戦しました！なんとこの貼り絵は布で作っていただきます！下絵を描いたり、生地を切ったり、貼ったりみんなで素敵な作品を作りました。

「クリスマスツリー」
作 ラッコグループ同



「ぐれーとぱりありーふ」
作 山本健司



カラフルなクレヨンで紙いっぱいに塗りました！オーストラリアの神秘的なサンゴ礁のように見えてきませんか？



上に塗ったクレヨンを書きました。
「宇宙」
作 時岡育子



はるの里まつり中止のお知らせ

例年10月になると地域のみなさま、通信を読んでいただいているみなさまに「はるの里まつりを開催します！」と案内を出していますが、昨年に引き続き今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、はるの里まつりは中止とさせていただきます。

「今年はまつり開催するの?」「物品はあるー?」などの声があり、まつりの開催を楽しみにしていただいていた方には申し訳ありませんが、ご理解いただけますと幸いです。

まつりに向かっての準備のわくわく感、まつり当日の高揚感が味わえなかったり、まつりに来てくださるみなさんとお会いできないのはさみしいですが、感染が落ち着き、またはるの里まつりが再開できることを心より願っております。



撮影：2019年はるの里まつり

はるの里の歩みをみなさまとご一緒に

はるの里は1981年4月に下京区の長屋の一角で、障害のある仲間2名と職員1名で産声を上げました。どんな時でも障害のある仲間や家族の願いを真ん中に歩みを重ねて40年の歴史となりました。これも地域の方々はじめ、多くの方々の支えがあつてのことと、心より感謝申し上げます。

40年の歴史と仲間の今とこれからチャレンジしていくことをみなさまにお届けしてしようと記念事業の準備をしています。40周年記念誌・記念グッズ・仲間の元気をお届けするスペシャル企画を今年度事業で実施していきます。

コロナ禍で制約がある中ですが「ユーチューブで仲間の元気な様子を見てもらおうかな」「素敵な記念グッズをつくっていききたいな。販売出来たら嬉しいな。」「4曲目のはるの里オリジナルソングつくろう」と、仲間たちの元気を“かたち”にしてお届けする予定です。

空き缶回収について

いつも空き缶の回収にご協力いただきありがとうございます。
仲間（利用者）のリサイクル活動により 2021 年 1 月～9 月の収益は以下の額となりました。
収益金は仲間の給料となります。

1 月	¥10,500-	6 月	¥ 6,500-
3 月	¥11,000-	8 月	¥ 9,500-
4 月	¥11,000-	9 月	¥10,500-
5 月	¥ 6,000-		
	合計	¥65,000-	

「仕事をもっともっとしたい」、「給与がもう少し上がって欲しいな」と仲間の思いを実現するために地域の皆様の厚い空き缶回収のご協力をお願いします。
お手数をおかけしますが、下記の事項に気をお配りしていただければ嬉しいです。

- 1 はるの里にお持ちいただく
- 2 ご連絡を入れていただきましたら、回収に伺います
- 3 ご提供いただく空き缶は、衛生上洗浄、乾燥の上でご用意をお願いします。
- 4 リサイクル対象の空き缶はアルミ缶のみとなっております。スチール缶、ペットボトル、空き瓶は対象外となりますゆえ、ご了承くださいますようお願いいたします。

寄付

(2021 年 1 月～10 月)

西京老人クラブさま 金一封

O さま 金一封

D さま 金一封

松陽学区社会福祉協議会さま 金一封

O さま 金一封

株式会社 朱常分店さま バナナ

I さま 金一封

N さま 文具

T さま、N さま お菓子

K さま ジュース等飲料

株式会社オージス総研さま PC

(個人の方につきましてはイニシャルにてご紹介しております。なお関係者からのものは除きます)

ありがとうございます。